Matsuyama JAPAN
Words Spring and Bloom

本事業は、公益財団法人松山観光コンベンション協会の
MICE 開催助成金を活用しております。

プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、
しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。
今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

お問合せ

第22回 大会事務局

TEL：089-927-8828
E-mail：sangaku2024ehime@gmail.com

特定非営利活動法人 産学連携学会 ホームページ　http://j-sip.org/

2024年7月5日　発行

産学連携学会 第22回大会

愛媛大会
2024.7
13·14
SAT SUN

22th Annual Meeting of Japan Society for Intellectual Production

場　所	**愛媛大学 南加記念ホール、共通講義棟 A** 〒790-8577　愛媛県松山市文京町３番
主　催	特定非営利活動法人 **産学連携学会**
共　催	国立大学法人 **愛媛大学**
後　援 （順不同）	文部科学省、経済産業省、農林水産省、国立研究開発法人科学技術振興機構 国立研究開発法人日本医療研究開発機構、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 独立行政法人中小企業基盤整備機構、内閣府知的財産戦略推進事務局、愛媛県、松山市 公益財団法人えひめ産業振興財団、松山商工会議所、愛媛県商工会議所連合会、愛媛県中小企業団体中央会 愛媛経済同友会、愛媛大学研究協力会、四国経済連合会、一般財団法人四国産業・技術振興センター 産業技術総合研究所四国センター、四国産学官連携イノベーション共同推進機構
大会運営	大会長 **仁科　弘重**　愛媛大学長 実行委員長 **満田　憲昭**　愛媛大学理事・副学長（研究・産学連携、環境担当）

産学連携学会第２２回大会【愛媛大会】プログラム

目　次

ご参加の皆さまへ …… 1

会場案内図 …… 3

全体プログラム …… 6

タイムテーブル …… 9

発表プログラム …… 11

ご案内 …… 27

産学連携学会第22回大会【愛媛大会】

会　期：2024年7月13日（土）・14日（日）
会　場：愛媛大学南加記念ホール、共通講義棟A
（愛媛県松山市文京町3番）

ご参加の皆さまへ

1. 発表要領

■一般講演・オーガナイズドセッション

1）講演番号は、日付、発表ルーム、セッション開始時刻、発表順の各英数字で構成しています。（例 0713B1000-2 発表日：7月13日、B会場、セッション開始：10時00分、発表順：2）

2）各講演は以下の時間で構成される個別口頭発表形式で行います。
発表時間12分　討論時間3分〔計15分〕

3）発表終了1分前にベルを1回、発表終了時にベルを2回鳴らします。討論終了時にはベルを3回鳴らします。十分な議論ができるよう、発表は12分以内に収めてください。

4）オーガナイズドセッションの時間配分は座長に一任しております。

5）発表時のパソコンの操作は各自で行ってください。

■ポスターセッション（P会場：ひめテラス）

1）ポスターパネルは、3連ホワイトボードスクリーンに展示となります。サイズは、W246cm（77.5/91/77.5）×H180cmです。これに収まるようにご準備ください。

2）出展者は各自ポスターを会場へ持参し、7月13日（土）12時30分までに所定の場所に展示してください。（発表番号の札をご参照ください。）

3）ポスターは原則として大会期間中継続して展示します。セッションは7月14日（日）16時00分に終了します。セッション終了後、出展者は各自ポスターを撤去ください。

2. 座長担当について

1）今大会では、座長はセッション内持ち回り担当とします。各セッション内の最後の発表者が最初の発表時の座長を担当してください。発表者は、自身の発表後座長席へ移動し、次の発表の座長を担当してください。この流れで、順次座長を担当してください。

2）座長は、フロアからの質問を促し、自らも発表者へ質問をするなど、セッション内での質疑応答が活発になるよう努めてください。

3）講演者に対し発表・進行の時間厳守を促してください。

4）キャンセルされた講演がある場合には、次の講演を行い、討論の時間配分で調整してください。

3. 昼食

大会開催期間中、大学生協食堂は閉店となりますが、お昼休み時間限定で売店は開店します。昼食休憩時間に限定して、A～C会場は飲食が可能です。また周辺や近隣の大街道周辺には、多数の飲食店がございますので、そちらのご利用をお願い申し上げます。

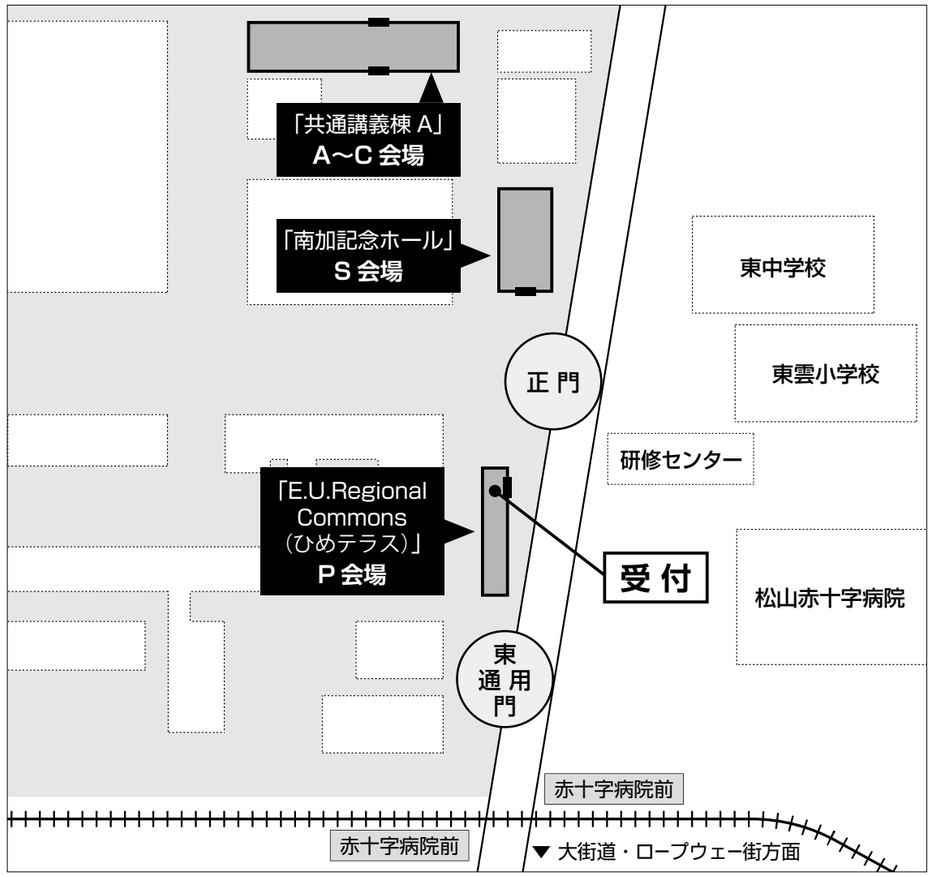
4. 大会運営

大　会　長：仁科 弘重　学長
実行委員長：満田 憲昭　理事・副学長（研究・産学連携、環境担当）
大会事務局：産学連携学会第22回大会実行委員会
事務局：秋丸 國廣
〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学研究・産学連携推進機構内
E-mail：sangaku2024ehime@gmail.com
TEL：089-927-8828

会場案内図

S 会場：南加記念ホール
A ～ C 会場：共通講義棟 A
受付及び P 会場：E.U.Regional Commons（ひめテラス）

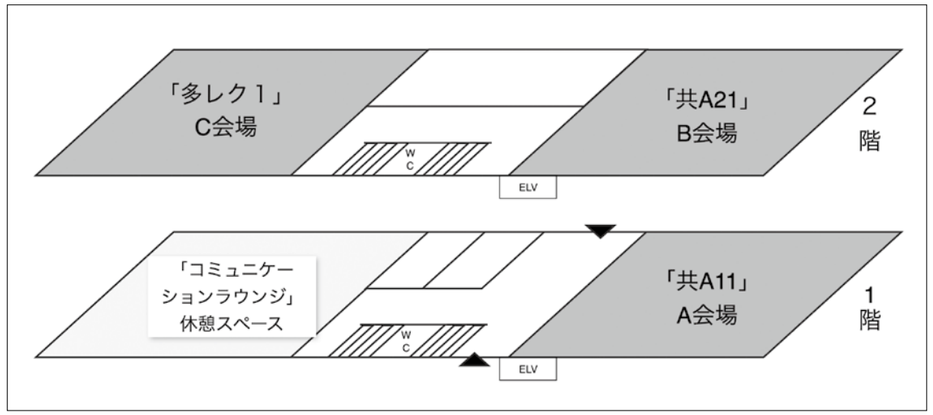
【会場全体図】



受付は E.U.Regional Commons（ひめテラス）1 階に開設します。来場いただきましたら、まず受付にお立ち寄りください。受付にて、参加証をお渡しします。会場内では、参加証は名札として使用できますので、大会参加中のご着用をお願いします。
S 会場内での飲食は禁止です。

会場では、大学の Wifi 環境を利用できますので、edurom 接続を登録済みの方は edurom をご利用ください。大会参加時のみネットワーク接続が必要な方には、愛媛大学のネットワーク接続用 ID を発行しますので、大会受付にて手続きをしてください。

【A ～ C 会場：共通講義棟 A】



- 会場以外の教室のご利用はお控えください。
- 1 階コミュニケーションラウンジは、休憩スペースとしてご活用ください。
- セッションの予定が無い昼食休憩の時間帯では、会場内で飲食は可能ですが、食べこぼし等が無いようお使いください。また、昼食後のごみは、お持ち帰りいただくか、所定の場所での回収にご協力ください。構内美化へのご協力をお願いします。

愛媛大学城北キャンパスへのアクセスと全体マップは、
https://www.ehime-u.ac.jp/about/access/　をご参照ください。▶

（参考）

- 松山空港からリムジンバス（道後温泉行）を利用、南町県民文化会館前で下車、徒歩約 10 分
- ＪＲ松山駅から、伊予鉄市内電車 1 番線を利用、赤十字病院前で下車
- 松山市駅から、伊予鉄市内電車 2 番線を利用、赤十字病院前で下車
- 高速バスを利用の場合は、大街道で下車、ロープウェイ街経由で徒歩約 17 分

【情報交換会の会場】

会場からは、徒歩で、ロープウェイ街経由で約 17 分、市内電車（赤十字病院前電停から環状線松山市駅行に乗車、大街道電停で降車）で 17 分です。

全体プログラム

開　会　式

【日　時】7月 13 日（土）　14：45 ～ 15：15

【会　場】S 会場（南加記念ホール）

基 調 講 演

【日　時】7月 13 日（土）15：15 ～ 16：15

【会　場】S 会場（南加記念ホール）

【講　師】三井住友信託銀行株式会社　エグゼクティブアドバイザー
三井住友海上火災保険株式会社　顧問
NES 株式会社　取締役・ファウンダー
野口　謙吾 氏

【テーマ】大学研究の社会実装としてのスタートアップ創出取組みへ期待すること

シンポジウム

テーマ：地域をフィールドにした大学研究とその社会実装

【日　時】7月13日（土）16：15 ～ 17：30

【会　場】S 会場（南加記念ホール）

【概　要】地域における地方大学の役割として、地域のステークホルダーと連携した地域産業の活性化のための専門人材育成と地域の発展や課題解決に資する高度な研究取り組みの実施があります。地域の中核の大学として、地域特有の課題に関する高度な大学研究力で解決するだけにとどまらず、研究成果を地域社会へ実装する取り組みも重要であり、また大学発スタートアップ創出を推進する国の事業が大規模化したこともあり、産学連携において大学発研究成果の事業化を推進する取り組みはより一層関心度が高まりつつあります。本シンポジウムでは、地域をフィールドとする新事業創出の大学研究の在り方や地域活性化につながる大学発スタートアップ創出における産学官連携の在り方について議論し、地域の大学としていかに Sustainable な社会、Resilient な地域社会の構築に貢献するかを皆様と共に考えます。

【パネリスト（敬称略）】

愛媛大学イノベーション創出院南予水産研究センター　教授	**後藤　理恵**
大王製紙株式会社　新素材研究開発室　室長	**大川　淳也**
PLANT DATA 株式会社　研究開発担当役員	**高山弘太郎**
Beyond Next Ventures 株式会社　代表取締役社長	**伊藤　　毅**
三井住友信託銀行株式会社　エグゼクティブアドバイザー	**野口　謙吾**

【コメンテーター（敬称略）】

文部科学省　科学技術･学術政策局　産業連携･地域振興課　課長	**池田　一郎**
経済産業省　産業技術環境局　大学連携推進室　室長	**川上　悟史**
農林水産省　農林水産技術会議事務局　研究推進課 産学連携室　室長	**大熊　　武**

【ファシリテーター（敬称略）】

愛媛大学理事・副学長（研究・産学連携担当）	**満田　憲昭**

一 般 講 演

【日　時】7月13日（土）10：00 ～ 14：30
7月14日（日）　9：30 ～ 16：00
【会　場】S 会場、A 会場、B 会場、C 会場

オーガナイズドセッション

1. イグイノベーションコンテスト IC 事業の実施方策研究

座長・オーガナイザー：**湯本　長伯**（社会構造設計研究所）
【日　時】7月13日（土）10：00 ～ 12：00
【会　場】S 会場

2. 民間サービスは研究・事業化環境改善のために今後何が出来るのか

座長・オーガナイザー：**原田　隆**（東京工業大学）
【日　時】7月13日（土）10：00 ～ 11：45
【会　場】A 会場

3. 地域連携教育の課題と苦悩

― **連携疲れに陥らないために** ―（地域連携教育研究会企画）
座長：**淺野　禎彦**（浅野会計事務所）
オーガナイザー：**杉岡　秀紀**（地域連携教育研究会）
【日　時】7月13日（土）13：00 ～ 14：30
【会　場】A 会場

4. 産学連携における知的財産権活用を『知的財産専門委員』制度から考える

座長・オーガナイザー：**湯本　長伯**（社会構造設計研究所）
【日　時】7月14日（日）9：30 ～ 11：30
【会　場】S 会場

5.“外”を知って視野を広げてほしい研究支援業務

座長・オーガナイザー：**馬場　大輔**（新エネルギー・産業技術総合開発機構）
【日　時】7月14日（日）13：45 ～ 15：15
【会　場】S 会場

ポスター

【日　時】7月13日（土）10：00 ～ 14日（日）16：00
【会　場】P 会場

タイムテーブル　7月13日（土）

時間	南加記念ホール S会場		共通講義棟A　1階 共A11 A会場		共通講義棟　2階 共A21 B会場		共通講義棟　2階 多レク1 C会場		ひめテラス P会場	時間
	セッション	講演者	セッション	講演者	セッション	講演者	セッション	講演者		
10:00	イグノベーションコンテスト―IC事業の実施方策研究 湯本 長伯	【OS】 湯本長伯 木村雅和 討論：川名優孝 木村雅和 石塚悟史 湯本長伯 石塚悟史	民間サービスは研究・事業化環境改善のために今後何が出来るのか 原田 隆	【OS】 宮川智弘 牛木威志 加藤真壽美 関根岳之 山本実侑 原田隆	知的財産	稲岡美恵子	リサーチアドミニストレーション	鈴木紀子	ポスターセッション	10:00
10:15						嵯峨山和美		米田則篤		10:15
10:30						井上博之		荒木寛幸		10:30
10:45						生田容景		西片奈保子		10:45
11:00						横島善子				11:00
11:15							産学官連携プロジェクト1	菅万希子		11:15
11:30								丹生晃隆		11:30
11:45								崎山智司		11:45
12:00	昼食休憩（60分）									12:00
13:00			地域連携教育の課題と苦悩 ―連携疲れに陥らないために― 杉岡 秀紀	【OS】 石塚悟史 伊藤慎一 下山朗 菅万希子 杉岡秀紀	人材育成1	山口光男	産学官連携プロジェクト2	手嶋恵美		13:00
13:15						陳内秀樹		坂井俊文		13:15
13:30						川崎一正		勝見一生		13:30
13:45						丹生晃隆		関口英里		13:45
14:00						中川貴		南了太		14:00
14:15								南了太		14:15
14:30										14:30
14:45	開会式									14:45
15:15	基調講演									15:15
16:15 17:30	シンポジウム									16:15 17:30

タイムテーブル　7月14日（日）

時間	南加記念ホール S会場		共通講義棟A　1階 共A11 A会場		共通講義棟　2階 共A21 B会場		共通講義棟　2階 多レク1 C会場		ひめテラス P会場	時間
	セッション	講演者	セッション	講演者	セッション	講演者	セッション	講演者		
9:30	産学連携における知的財産権活用を『知的財産専門委員』制度から考える 湯本 長伯	【OS】 湯本長伯 湯本長伯 稲岡恵美子 ディスカッション：伊藤慎一 石塚悟史 稲岡恵美子 湯本長伯 石塚悟史	地域間連携	丹生晃隆	人材育成2	樋口明弘	産学官連携プロジェクト3	栗本聡	ポスターセッション	9:30
9:45				山本寛		村上画里		中村和博		9:45
10:00				内島典子		長田和美		平丸大介		10:00
10:15				木村尚仁		木村真二		酒井武信		10:15
10:30				入野和朗		平子紘平		村川修一		10:30
10:45				木村雅和						10:45
11:00					スタートアップ	河口亮介	産学官連携プロジェクト4	成田尚宣		11:00
11:15			国際展開	杉本等		鹿野京子		大西淳		11:15
11:30				村川修一		大屋知子		吉田綾		11:30
11:45				イソジョン		酒匂孝之		石黒成紀		11:45
12:00				河野良治		大塚進		福田覚		12:00
12:15	昼食休憩（90分）									12:15
13:45	“外”を知って視野を広げてほしい 研究支援業務 馬場 大輔	【OS】 馬場大輔 安部香菜子 二階堂知己 新治義久	リスクマネジメント	河合孝尚	組織間連携1	舩倉隆央	産学連携論1	西川洋行		13:45
14:00				小野浩幸		小竹暢隆		湯本長伯		14:00
14:15				狩野幹人		小竹暢隆		湯本長伯		14:15
14:30				三橋一郎		開本亮		佐藤浩哉		14:30
14:45										14:45
15:00			リエゾン活動	有薗和子	組織間連携2	湯本長伯	産学連携論2	片岡沙都紀		15:00
15:15				原田隆		伊藤誠悟		北村寿宏		15:15
15:30				田口英生		吉用武史		北村寿宏		15:30
15:45								飯島徹		15:45

発表プログラム

一般講演・オーガナイズドセッション

7月13日（土）第1日目　S会場　10：00 ～ 12：00

オーガナイズドセッション　10：00 ～ 12：00

イグイノベーションコンテストIC事業の実施方策研究

座長：湯本　長伯（社会構造設計研究所）

オーガナイザー：湯本　長伯

0713S1000-1　産学連携におけるイグイノベーションコンテストの役割と設計
○ 湯本 長伯（社会構造設計研究所）

0713S1000-2　イグイノベーションコンテストの開催の意義について
○ 木村 雅和（静岡大学、静岡理工科大学）

0713S1000-3　討論「いま地域・分野から何を論じ為すべきか／有識者から」
司会進行：川名 優孝（東海大学）
討論パネル：木村 雅和（静岡大学）、石塚 悟史（高知大学）、湯本 長伯（社会構造設計研究所）

0713S1000-4　IIC事業を第三者の立場から検証する
○ 石塚 悟史（高知大学）

7月13日（土）第1日目　A会場　10：00 ～ 14：30

オーガナイズドセッション　10：00 ～ 11：45

民間サービスは研究・事業化環境改善のために今後何が出来るのか

座長：原田 隆（東京工業大学）

オーガナイザー：原田　隆

0713A1000-1　『研究支援サービス・パートナーシップ認定制度』（A-PRAS）について
○ 宮川 智弘（文部科学省）

0713A1000-2　AI 必須アイテムの GPU、買い取りますか？レンタルもあります
○ 牛木 威志（GDEP ソリューションズ株式会社）

0713A1000-3　JDream Expert Finder を活用した産学官連携パートナー探索と有望な若手研究者探索
○ 加藤 真壽美（株式会社ジー・サーチ）

0713A1000-4　大学経営の視点から考える設備共用化とイノベーション
○ 関根 岳之（株式会社 Co-LABO MAKER）

0713A1000-5　スタートアップ育成支援サービス「BRAVE」を通じた、研究成果の社会実装の推進
○ 山本 実侑（Beyond Next Ventures 株式会社）

0713A1000-6　民間サービスは研究・事業化環境改善のために今後何が出来るのか
○ 原田 隆（東京工業大学）

オーガナイズドセッション　13：00 ～ 14：30

地域連携教育の課題と苦悩
― 連携疲れに陥らないために ―（地域連携教育研究会企画）

座長：淺野　禎彦（浅野会計事務所）

オーガナイザー：杉岡　秀紀（地域連携教育研究会）

0713A1300-1　高知大学における地域協働の取り組みと課題
○ 石塚 悟史（高知大学）

0713A1300-2　ルーラルエリアにおける課題解決型教育のあり方について
○ 伊藤 慎一（秋田大学）

0713A1300-3　経済学部における地域フィールドワーク調査の展開
～ 南都経済研究所との連携事例から ～
○ 下山 朗（大阪経済大学）

0713A1300-4　産学連携によるリカレント教育活動の方向性
○ 菅 万希子（関西医療大学）

0713A1300-5　公立大学と地域連携
～ 2つの公立大学での地域連携センターの経験から ～
○ 杉岡 秀紀（福知山公立大学）

7月13日（土）第1日目　B会場　10：00 ～ 14：15

知的財産　10：00 ～ 11：15

0713B1000-1　バタフライ風車プロジェクトの知財戦略
○ 稲岡 美恵子（鳥取大学）

0713B1000-2　アカデミア創薬の「薬事」を見据えたモダリティ別特許出願の在り方
○ 嵯峨山 和美、宮崎 悟、藤原 貴典（岡山大学）、秋丸 國廣（愛媛大学）、樋口 明弘（金沢大学）

0713B1000-3　地方大学における知的財産の特徴抽出
○ 井上 博之、永冨 太一（香川大学）

0713B1000-4　大学が事件当事者となっている知財訴訟 ～その３～
（国・公立大学法人が原告となっている民事訴訟２）
○ 生田 容景（山口大学）

0713B1000-5　特許の有効性判断の比較　～ 無効審決と侵害訴訟において ～
○ 横島 善子（福島大学）

人材育成１　13：00 ～ 14：15

0713B1300-1　センスメイキング理論からみた産学連携 PBL 教育の実践
○ 山口 光男（福井大学）

0713B1300-2　授業における「課題を解決する商品・サービスの発想レポート」での成果と課題
○陳内 秀樹（山口大学）

0713B1300-3　産学連携実習を通した人材育成に関する一考察
○ 川崎 一正（三条市立大学）

0713B1300-4　産学連携に関する学部専門教育の実践（第２報）
○ 丹生 晃隆、西片 奈保子（宮崎大学）

0713B1300-5　Internship on Campus　～ 大阪大学の産学官共創コース ～
○ 中川 貴、倉敷 哲生（大阪大学）

7月13日（土）第1日目　C会場　10：00 ～ 14：30

リサーチアドミニストレーション　10：00 ～ 11：00

0713C1000-1　URA の配置数に地域差はあるのか
○ 鈴木 紀子（帝塚山大学）、神谷 俊郎（京都産業大学）

0713C1000-2　試行 異分野勉強会実施について（仮）
○ 米田 則篤（和歌山大学）

0713C1000-3　研究支援職とその効果に関する分析 2024
○ 荒木 寛幸（文部科学省科学技術・学術政策研究所）、
伊藤 伸（東京大学）

0713C1000-4　研究支援者の大学間連携による産学連携の創出
～「知」の集積と活用の場®産学官連携協議会の活用例 ～
○ 西片 奈保子（宮崎大学）、中武 貞文（鹿児島大学）
殿岡 裕樹（琉球大学）、大野 富生（佐賀大学）、房 賢貞（九州大学）

産学官連携プロジェクト１　11：15 ～ 12：00

0713C1115-1　女性特有の健康問題解決にとりくむ東洋医療と AI 企業の産学連携
○ 菅 万希子、坂口 俊二（関西医療大学）、
鈴木 聖一（株式会社 ID プラスアイ）、岩渕 崇（プライムファクターズ）

0713C1115-2　宮崎発「キャラいも」を題材とした実践活動の取り組み（第４報）
～ 留学生を対象としたマーケティング調査の実践 ～
○ 丹生 晃隆、古川 公貴、山本 菜月、大庭 洋輝、川添 琴海、
小村 理歩、谷口 翔馬（宮崎大学）、木原　奈津子（株式会社イート）

0713C1115-3　産学公連携による湯田温泉の活性化プロジェクト（II）
○ 崎山 智司、長嶋 真世、中尾 梨子、中村 太亮、深野 多美（山口大学）

産学官連携プロジェクト２　13：00 ～ 14：30

0713C1300-1　“ ビール初心者 ” が考えるビールの販売促進
～ アサヒビール株式会社との産学連携による取り組み ～
○ 手嶋 恵美（中村学園大学）

0713C1300-2　産学連携による地域ワイン事業化促進プロジェクト
○ 坂井 俊文（北海道科学大学）

0713C1300-3　大学発製品のブランド価値に関する研究
～ コシヒカリ新潟大学 NU 1号ネーミングコンペを事例に ～
○ 勝見 一生（新潟大学）

0713C1300-4　地域の伝統産品をめぐる新たな文化創出の取り組み
○ 関口 英里（同志社女子大学）

0713C1300-5　芸術・デザイン系産学連携の一考察
～ 香老舗 松栄堂と京都精華大学の実践教育の一事例 ～
○ 南 了太（京都精華大学）、辻 光一郎、松岡 正（株式会社 松栄堂）

0713C1300-6　人文社会系分野の学生による産学連携実践教育の一考察
～ Curelabo 株式会社と京都精華大学の事例 ～
○ 南 了太（京都精華大学）、隅田 剣生（Curelabo 株式会社）

7月14日（日）第2日目　S会場　9：30～15：15

オーガナイズドセッション　9：30～11：30

産学連携における知的財産権活用を『知的財産専門委員』制度から考える

座長：湯本　長伯（社会構造設計研究所）

オーガナイザー：湯本　長伯

0714S0930-1　専門委員制度の歴史と今後を考える ＋ 此の制度への参加を応援し産学連携とのより良い連携を図る（知的財産高等裁判所資料より）
○ 湯本 長伯（社会構造設計研究所、前知的財産専門委員）

0714S0930-2　『知的財産専門委員制度』を捉え直す契機 -専門委員1-9期・18年の経験から　～ 知的財産活用を推進する方法を考える ～
○ 湯本 長伯（社会構造設計研究所）

0714S0930-3　工と法、2つの専門分野から見た『知的財産専門委員制度』と工法連携・諸学連携
○ 稲岡 恵美子（鳥取大学、知的財産専門委員）

0714S0930-4　ディスカッション
司会進行：伊藤 慎一（秋田大学、知的財産専門委員）
討論パネル：石塚 悟史（高知大学）、稲岡 恵美子（鳥取大学）、湯本 長伯（社会構造設計研究所）

0714S0930-5　本学会の知的財産権問題への取組み
○ 石塚 悟史（高知大学、学会長）

オーガナイズドセッション　13：45～15：15

“外”を知って視野を広げてほしい研究支援業務

座長：馬場　大輔（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

オーガナイザー：馬場　大輔

0714S1345-1　スタートアップ支援人材に期待すること
○ 馬場 大輔（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

0714S1345-2　若手支援人材に大切なこと
○ 安部 香菜子（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

0714S1345-3　研究支援人材に気づいてほしいこと
○ 二階堂 知己（科学技術振興機構）

0714S1345-4　視野を広げて知ってほしいこと
○ 新治 義久（野村総合研究所）

7月 14 日（日）第2日目　A 会場　9：30 ～ 15：45

地域間連携　9：30 ～ 11：00

0714A0930-1　テゲバジャーロ宮崎と宮崎大学による地域連携活動（第３報）
～ 大学生と選手による交流イベント「テゲバ大学」の開催 ～
○ 丹生 晃隆、大庭 洋輝、川添 琴海、小村 理歩、谷口 翔馬、古川 公貴、山本 菜月（宮崎大学）

0714A0930-2　地域百貨店におけるデータマイニングを用いたマーケティング分析
○ 山本 寛（株式会社天満屋）、宮崎 悟（岡山大学）

0714A0930-3　地元のニーズから見る地域にある大学の社会人リカレント教育のあり方
○ 内島 典子（北見工業大学）

0714A0930-4　国際スポーツ雪かき選手権のためのセンサーグローブ開発による地域課題解決への取り組み
○ 木村 尚仁、村上 友祐、増岡 蒔人（北海道科学大学）、松代 弘之（㈱イノベーションプロジェクト）

0714A0930-5　地域愛の醸成と合意形成に関する事例分析と考察
○ 入野 和朗（愛媛大学）、西川 洋行（文部科学省・科学技術・学術政策研究所）、林 里織（山口大学）、藤田 雅彦（愛媛県産業技術研究所）

0714A0930-6　地域連携と大学改革
○ 木村 雅和（静岡大学）

国際連携　11：15 ～ 12：15

0714A1115-1　中小企業における高度外国人材の定着に関する一検討
○ 杉本 等（事業創造大学院大学）

0714A1115-2　スタートアップ・エコシステムの形成に大学が果たす役割の海外調査研究と今後の課題考察
○ 村川 修一（藤田医科大学）、田中 佐和子（名古屋大学）

0714A1115-3　韓国の「産業教育振興及び産学研協力促進法」の紹介
～ 産学協力団に関する内容を中心に ～
○ 李 素婷 / Sojeong Lee（山形大学）

0714A1115-4　研究大学からの転換　～ 研究者の動機からの考察 ～
○ 河野 良治（秀明大学）

リスクマネジメント　13：45 ～ 14：45

0714A1345-1　研究インテグリティについての考察
○ 河合 孝尚、昆 健志（琉球大学）

0714A1345-2　産学連携活動外部法人化に関する一考察　～ 日韓比較研究から ～
○ 小野 浩幸（山形大学）

0714A1345-3　特許出願公開による技術流出に関する分析
～ IPC の下位階層への展開 ～
○ 狩野 幹人、三橋 一郎、安井 寿儀（三重大学）

0714A1345-4　特許出願公開による技術流出に関する分析
～ IPC の下位階層への展開に基づく傾向分析 ～
○ 三橋 一郎、狩野 幹人、安井 寿儀（三重大学）

リエゾン活動　15：00 ～ 15：45

0714A1500-1　産学官連携から始める大学 DX　CRM ツールを活用した企業情報・研究者情報の一元管理
○ 有薗 和子（北九州市立大学）

0714A1500-2　アウトリーチ活動としての科学教室
～ キングスカイフロント夏の科学イベント ～
○ 原田 隆、安田 翔也、秋山 泰、仙石 慎太郎（東京工業大学）

0714A1500-3　産学連携による中小企業 DX 推進とデジタル化ニーズの比較分析
～ 山形県内中小企業調査の結果から ～
○ 田口 英生（山形大学）

7月 14 日（日）第2日目　B 会場　9：30 ～ 15：45

人材育成２　9：30 ～ 10：45

0714B0930-1　アカデミア研究の社会実装化のための教育セミナーに関するアンケート調査研究
○ 樋口 明弘（金沢大学）、秋丸 國廣（愛媛大学）、嵯峨山 和美（岡山大学）

0714B0930-2　生成 AI 利用に対する美術大学における教育上の取り組み
○ 村上 画里（東京造形大学）

0714B0930-3　デザイン思考を活用した PBL ～ 外国人に対する防災気象情報の提供
○ 長田 和美（山口芸術短期大学）

0714B0930-4　知財教育のニーズについての一考察
～ 知財教育 FD セミナーアンケート分析から ～
○ 木村 真二（山口大学）

0714B0930-5　地方ママさん人材の就労機会創出に向けた DX 教育プログラム
○ 平子 紘平、寒河江 雅彦、齊藤 実祥（金城大学）

スタートアップ　11：00 ～ 12：15

0714B1100-1　PSIにおける EDGE － PRIME Initiative
○ 河口 亮介（広島大学）

0714B1100-2　大学発ベンチャーとの教員兼業の運用に関する研究
○ 鹿野 京子、小野 浩幸、落合 文吾、高澤 由美、杉本 俊之（山形大学）

0714B1100-3　大学発ベンチャーで必要とされる人材についての検討
～ ライフサイエンス分野を中心に ～
○ 大屋 知子（大和大学）

0714B1100-4　大学発ベンチャー企業の創出を通じた研究成果の大企業への技術移転
～ 超高分子量多糖類サクランの事業化の事例報告 ～
○ 酒匂 孝之、内平 直志（北陸先端科学技術大学院大学）

0714B1100-5　AMED『橋渡し研究プログラム 大学発医療系スタートアップ支援プログラム』のご紹介
○大塚 進（日本医療研究開発機構）

組織間連携１　13：45 ～ 14：45

0714B1345-1　産学官金連携支援コミュニティ「DX サンライズおかやま」によるビジョン・ドリブンの産学連携活動
○ 舩倉 隆央（岡山大学）

0714B1345-2　資源効率化と中小企業競争力強化プログラム
～ ドイツ NRW 州における中間組織 EFA/NRW の取り組み ～
○ 小竹 暢隆（ヒューマンウェア・ネットワーク推進機構）

0714B1345-3　ウィーン市における企業の環境保護と中小企業競争力強化
～ 官民パートナーシップによる地域システムの展開 ～
○ 小竹 暢隆（ヒューマンウェア・ネットワーク推進機構）

0714B1345-4　大学研究者タイプ（ボーア型・エジソン型・パスツール型）の AI による分類判定とスタートアップ支援
○ 開本 亮（大阪工業大学）

組織間連携２　15：00 ～ 15：45

0714B1500-1　産学連携経済学の完成を目指し産学連携学会の知的資産を活用する
～ 本学会現有知財・シンボルマーク『プロメテウスの火』等の役割と活用に関する考察５ ～
○ 湯本 長伯（社会構造設計研究所）、村上 晶子（明星大学）

0714B1500-2　従業員の越境的探索行動を促す要因
○ 伊藤 誠悟（武蔵大学）

0714B1500-3　産学官民コミュニティ「KOCHI 未来会議」は地域創生プラットフォームとなるか
○ 吉用 武史（高知大学）

7月14日（日）第2日目　C会場　9：30～16：00

産学官連携プロジェクト3　9：30～10：45

0714C0930-1　Industry on Campus の深化と進化（1）
～ 共同研究講座・協働研究所の多様性が持つ強み ～
○ 栗本 聡（大阪大学）

0714C0930-2　Industry on Campus の深化と進化（2）
～ NEXCO 西日本の中期経営計画
「進化 2025」における高速道路学の役割 ～
○ 中村 和博、
吉田 夏樹（大阪大学 NEXCO 西日本高速道路学共同研究講座）、
田山 聡（西日本高速道路株式会社）、鎌田 敏郎（大阪大学）

0714C0930-3　Industry on Campus の深化と進化（3）
～ 島津製作所の共同研究を通じて人材育成を目指す
REACH プロジェクト ～
○ 平丸 大介、中西 博昭、
飯田 順子（大阪大学・島津分析イノベーション協働研究所）

0714C0930-4　オープンイノベーション活動の総括
○ 酒井 武信、成田 尚宣、青木 宏文、寺野 真明、
小池 吉繁（名古屋大学）

0714C0930-5　産官学連携による社会課題解決プロジェクトの事業化推進と今後の課題考察
○ 村川 修一（藤田医科大学）、冨田 直人（ADORA ㈱）

産学官連携プロジェクト4　11：00～12：15

0714C1100-1　産学連携における実施内容と実績
○ 成田 尚宣、河内 秀臣、山澤 靖、酒井 武信（名古屋大学）

0714C1100-2　大学 VC 経営における組織デザインに関する一考察
○ 大西 淳、吉田 綾（名古屋大学）

0714C1100-3　外部法人設立へのステップ
○ 吉田 綾、佐藤 和明、小池 吉繁（名古屋大学）

0714C1100-4　産学連携における “ 共同研究 ” から “ 共創 ” へのパラダイムシフト
○ 石黒 成紀（大建工業株式会社）、宮崎 悟（岡山大学）

0714C1100-5　北海道大学地域水産業共創センターが取り組む CREEN 人材育成プログラムの紹介
○ 福田 覚、三瓶 真、阿部 義之、今村 聖祐、鈴木 宏介、佐藤 哲生、浦和 寛、大木 淳之、向井 徹、藤森 康澄、細川 雅史、綿貫 豊、都木 靖彰（北海道大学）

産学連携論1　13：45～14：45

0714C1345-1　地域社会における産学官連携コーディネートの実態調査
○ 西川 洋行（文部科学省科学技術・学術政策研究所）、
入野 和朗（愛媛大学）、林 里織（山口大学）、
荒木 寛幸（文部科学省科学技術・学術政策研究所）

0714C1345-2　支部設立を契機に地域特性・多様性から異種異質連携を考察する
その4　近江の考察　～ 日本列島の多様性を内海から考える ～
○ 湯本 長伯（社会構造設計研究所）、村上 晶子（明星大学）

0714C1345-3　産学連携学会メールニュースの役割と設定 ― その4
メール上に討論の場を創る
○ 湯本 長伯（社会構造設計研究所）、村上 晶子（明星大学）

0714C1345-4　産学連携活動と影響要因の関係に関する分析　～ 岡山大学の事例 ～
○ 佐藤 浩哉、小林 健輔、松本 匡史（岡山大学）

産学連携論２　　15：00 ～ 16：00

0714C1500-1　北見工業大学における産学官共同研究の現状
○ 片岡 沙都紀、内島 典子、三枝 昌弘（北見工業大学）

0714C1500-2　地方大学における産学共同研究の実状解明の実証的研究　－２８
（2014 ～ 2018 年度の共同研究件数の大学間の比較）
○ 北村 寿宏（島根大学）、川崎 一正（三条市立大学）、
竹下 哲史（長崎大学）、秋丸 國廣（愛媛大学）

0714C1500-3　地方大学における産学共同研究の実状解明の実証的研究　－２９
（2014 ～ 2018 年度の共同研究の研究費受入額の大学間の比較）
○ 北村 寿宏（島根大学）、川崎 一正（三条市立大学）、
竹下 哲史（長崎大学）、秋丸 國廣（愛媛大学）

0714C1500-4　産学連携の状態把握モデル
（２者間のプロジェクト進展モニターモデル①）
○ 飯島 徹（室蘭工業大㈻）、北村 寿宏（島根大学）、
足立 和成（山形大学）、竹下 哲史（長崎大学）

7月 13 日（土）、14 日（日）　P 会場　常設

ポスター発表

P-01　AMED 橋渡し研究プログラムの紹介
○ 塩塚 政孝、近藤 祐介、大塚 進（日本医療研究開発機構）

日本全国の大学等機関から出展された特許取得済技術シーズの展示会！

（※出願中含む）

大学見本市 2024 Innovation Japan

大学見本市
イノベーション・ジャパン

2024年 8月22日(木)、23日(金)

東京ビッグサイト 南展示棟南１ホール
(東京都江東区有明3-11-1)

研究者と企業とが直に情報交換できる日本最大規模の産学連携イベント

昨年の来場者は2日間で1万人を超えた

昨年は全国大学等機関から276課題が出展

JST大学見本市事業サイト　開催詳細や最新情報はこちらから

https://www.jst.go.jp/tt/fair/

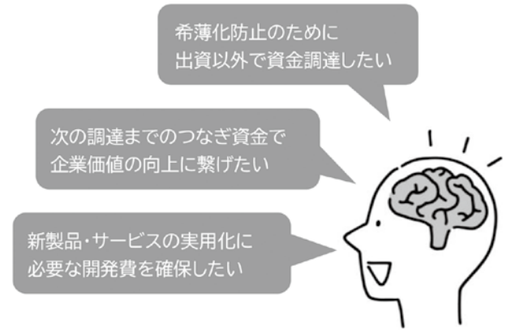
主催：科学を支え、未来へつなぐ 科学技術振興機構

お問い合わせ先：
スタートアップ・技術移転推進部大学見本市担当
Mail：entry@jst.go.jp

共催：文部科学省
後援：公益社団法人経済同友会、独立行政法人工業所有権情報・研修館、独立行政法人国際協力機構、
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構、東京商工会議所、特許庁、
一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所　（50音順）

A-STEP 実装支援 返済型

JSTは、大学等の研究成果の社会実装を目指す、
スタートアップ等による実用化開発を、開発費の貸付により支援します。



最長3年間の開発を上限5億円で支援！

- 銀行融資に比べてフレンドリーな貸付条件
- 技術と事業のポテンシャルを見て判断
- 通年でご相談受付中

科学を支え、未来へつなぐ 科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部 実装支援グループ

お問合せ先 jitsuyoka@jst.go.jp 03-5214-8995
www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html

出資型新事業創出支援プログラム

SUCCESS

出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）は、JSTの各種事業（CREST、さきがけ、A-STEP、START等）における研究開発成果の実用化をめざすスタートアップを支援する制度です

- JSTの研究開発成果の実用化を目指すスタートアップに対し、出資や人的・技術的援助（ハンズオン）を行います
- スタートアップ起業前・起業後の事業計画立案等のご相談も承っています
- JSTがスタートアップの株主になることで民間の資金が集まってくる「呼び水効果」を狙っています
- スタートアップの創出成長を通じて、JSTの研究開発成果の実用化・社会還元を促進します

詳しくはSUCCESSのHPをご覧下さい
【出資に関するご相談は随時受付中】 ➡ SUCCESS https://www.jst.go.jp/entre/

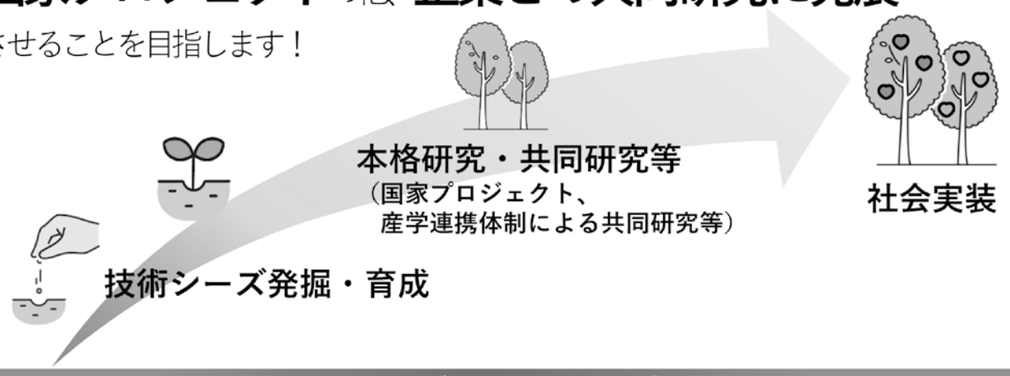
科学を支え、未来へつなぐ 科学技術振興機構 スタートアップ出資・支援室

お問合せ先 entre@jst.go.jp 03-6380-9014

NEDO　国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構

革新的・挑戦的な技術シーズを発掘し、国家プロジェクトの他、企業との共同研究に発展

させることを目指します！



技術シーズ発掘・育成事業

NEDO先導研究プログラム

脱炭素社会の実現や**新産業の創出**に向けて、課題の解決に資する革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む**産学連携体制による共同研究等**につなげていくことを目指します。

先導 事業概要
をご紹介

官民による若手研究者発掘支援事業（若サポ）

次世代のイノベーションを担う人材の育成を目指して、実用化に向けた研究を行う大学等の**若手研究者（45歳未満）**と企業との共同研究等の形成促進に向けた支援を実施します。

若サポ研究テーマ
をご紹介

産学連携事業の情報はこちら

NEDO connect （産学連携エントランス）

NEDO connectでは、産学連携に関心があるアカデミア・産業界両方のみなさまにお届けしたい情報を掲載しています。イベント情報や公募情報を定期的に更新していますので、ぜひご覧ください。

NEDO 新領域・ムーンショット部

日本発、イノベーション創出に欠かせない基礎研究力の育成・向上を目指す次世代応援寄付プログラム

「はばたく次世代」応援寄付プログラム

第一三共は、社会・経済の変革をもたらすイノベーションの源泉となる「基礎研究」の発展を期待し、大学等の研究マネジメント組織が次世代を担う研究者を支援する「はばたく次世代」応援寄付プログラムを開始しました。このプログラムは、ライフサイエンスに限らず、数学、物理学、化学、社会学なども含む広範なサイエンスに関する大学等での基礎研究者の研究力の育成・向上、それを支える大学のマネジメント体制の強化・整備を応援します。

「はばたく次世代」
応援寄付プログラム
"Flying Next Generation" support donation program

オンライン説明会
9月上旬開催予定

詳細はこちらからご覧ください ▶
https://www.daiichisankyo.co.jp/about_us/habataku/

【応募資格】研究推進支援のための外部資金活用の学部・組織横断的な検討・判断を行うことができる研究マネジメント組織（URA*や産学連携部門等）の機能を有している大学等**。昨年度採択校も応募可能です。

【応募期間】**2024年9月2日（月）～10月11日（金）（予定）**

【申 請 者】大学等の研究戦略担当の理事・副学長等または研究マネジメント組織（URAや産学連携部門等）の組織長等

【寄付金額】1大学あたり上限2,000万円　　寄付件数:15大学程度

【支援使途】幅広い範囲の基礎研究力向上に係る費用（人文社会科学系も含めてライフサイエンスに限らない）、また本プログラムの大学内の運用において必要な経費（研究者の選定等に係るURAや産学連携部門の経費等）に資する用途とします。なお、学生や研究者の生活支援また大学施設費への充当は不可とします。

【支援実績】採択校15校／応募校32校（2023年度）

*University Research Administrator
**国公私立大学（短期大学を含む）、大学共同利用機関のうちいずれかに該当する機関。本プログラムへの応募は1大学当たり1件とします

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。
第一三共株式会社

託された未来をひらく

人が誰かを信じ、何かを託すことができるのは
この世界にまだまだ希望があると信じているから。
私たちは、未来が明るくなるように、ひらいていきたい。
お客さまの想いを啓く。挑戦し続け道を拓く。
資産の可能性を開く。社会が循環する力を展く。
どこまでも誠実に、どこよりも機敏に。
トラストという言葉に「信頼」を超えた
「信じて託される」ことの誇りをもって
これからの100年も、その先も。
私たちが託されるのは、人と地球の未来そのものだから。

三井住友トラスト・グループ　100th Anniversary

100周年特設サイト

ブランドムービー

愛媛大学　研究協力会

研究協力会とは

産学官の人および情報の交流を通して、21世紀における愛媛の産業と科学技術の一層の進展と地域社会への貢献を目指している愛媛大学の産学連携・地域連携活動などを支援します。
また、産学官間の言わば異業種交流の場を提供するとともに、お互いの理解の増進と交流の促進を図り、これらの交流を通して、**「大学のシーズを産業界へ、社会のニーズを大学へ」の架橋**になります。

企業等の技術者、開発担当者と
大学研究者等との交流の場を提供

地元企業ニーズに対応した研究部会を設置
（産学共創による課題解決策の検討）

大学が行う技術研究に関する相談窓口
大学研究者が行う技術開発指導

① IoT利用技術検討部会
② 組込みシステム・人工知能・言語処理検討部会
③ アーバンデザイン研究部会
④ 食品栄養・機能性研究部会
⑤ 福祉ロボティクス
⑥ 地域の問題を解決するロボティクス
⑦ 再生可能エネルギー利用研究部会
⑧ 廃炉措置研究部会
⑨ 水環境再生技術研究部会
⑩ スマート農業研究部会
⑪ SDGsに基づいた企業経営研究部会
⑫ カーボンニュートラルに関する研究部会

（会員一覧）

- (株)アイサイト
- (株)アテックス
- 朝日共販(株)
- ANAクラウンプラザホテル松山
- (株)イージーエス
- 井関農機(株)
- 今治市役所
- (株)一宮工務店
- (株)伊予銀行
- (株)いよぎん地域経済研究センター
- (株)伊予鉄グループ
- 潮冷熱(株)
- NECプラットフォームズ(株)
- (株)NPシステム開発
- (株)愛媛銀行
- 愛媛県経営者協会
- 愛媛経済同友会
- 愛媛県商工会議所連合会
- 愛媛県商工会連合会
- 愛媛県中小企業団体中央会
- 愛媛信用金庫
- (株)愛媛電算
- オオノ開發(株)
- 越智昇鉄工(株)
- (株)門田商店
- 川之江造機(株)
- 菅機械産業(株)
- 共立工営(株)
- (株)キクノ
- (株)コスにじゅういち
- (株)シアテック
- 四国ガス(株)
- (一財)四国産業・技術振興センター
- 四国通建(株)
- 四国電力(株)愛媛支店
- 四国乳業(株)
- 四国溶材(株)
- (株)シーライブ
- (株)親和技術コンサルタント
- 新和工業(株)
- 住友化学(株)愛媛工場
- 住友金属鉱山(株)技術本部新居浜研究所
- 住友重機械工業(株)
- 西部鉄工(株)
- セキ(株)
- ダイオーエンジニアリング(株)
- (株)ダイテック
- (株)タケチ
- 帝人(株)松山事業所
- 帝人フロンティア(株)
- (株)テレビ愛媛
- (株)土居鉄工所
- トータスエンジニアリング(株)
- (株)トップシステム
- (株)トーヨ
- 南海測量設計(株)
- 日泉化学(株)
- 日滝工業(株)
- (株)パルソフトウェアサービス
- (株)ヒカリ
- BEMAC(株)
- (株)富士建設コンサルタント
- (株)フジコソ
- (株)芙蓉コンサルタント
- 松山容器(株)
- 眞鍋造機(株)
- マルトモ(株)
- 三浦工業(株)
- (株)ユタカ
- (株)米北測量設計事務所

伊予銀行

エージェント

AGENT アプリ

振込や定期預金口座開設など様々な機能をご利用頂けます！

AGENT アプリでできること

- 残高照会・入出金明細照会
- 引落予定照会
- 振込・振替
- 資産推移照会
- 投資信託 /NISA 口座開設・購入・解約
- 普通預金口座開設
- 定期預金口座開設・預入・解約
- Visaデビット申し込み・照会
- 家族口座共有
- 紛失・盗難の届け出（キャッシュカード・通帳・印鑑など）
- 住所・氏名・電話番号変更
- QRコード税金支払い

QR コードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

マッチングで世界を変える

Linkers

技術マッチングで、モノづくりの生産性を最大化。
各産業に精通した産業コーディネーターによる「目利き」と、
ITを駆使した高精度な探索システムを掛け合わせ、
これまでの枠を超えた創造的で革新的なビジネスマッチングを実現させます。

ひめぎん

ひめぎんアプリ

普通預金・投資信託・NISAの口座開設から投資信託売買まで、
アプリで完結するサービスが増えてますます便利になりました!!

- ▶ 普通預金口座開設
- ▶ 投資信託口座開設（証券口座開設） NEW
- ▶ NISA口座開設 NEW
- ▶ 投資信託売買 NEW

愛媛銀行

詳しくは、お近くの愛媛銀行またはホームページ、
フリーダイヤルへお問い合わせください。

https://www.himegin.co.jp/

0120-22-0576（月～金（祝日除く）9:00～17:00）

まずはこちらから ひめぎんアプリを ダウンロード！

商号等｜株式会社 愛媛銀行　登録金融機関｜四国財務局長（登金）第6号　加入協会｜日本証券業協会　（2024年5月1日現在）

ANA
CROWNE PLAZA®
AN IHG HOTEL
MATSUYAMA

ANA クラウンプラザホテル松山
〒790-8520 松山市一番町 3 丁目 2 -1
TEL.089-933-5511（代）
anacpmatsuyama.com

的確で新鮮な表現をめざして。

人は何かと比較することで、「これがいい」と判断できます。
他人と自分を比較して、満足できない自分が居ても、
昨日の自分と比較して、満足できる自分も居ます。
どんな比較対象にFITさせ、どんなNEWを見いだすか、
また、どんな既存の価値観にFITさせ、どんなNEWを創造するか、
FIT & NEW、それは価値観の形成作業。
的確がもたらす共感、新鮮がもたらす感動、
それがプリナートのワーキングテーマです。

PRINART 岡田印刷株式会社
〒790-0012 愛媛県松山市湊町7-1-8　TEL(089)941-9111 FAX(089)932-1199
URL https://okada.prinart.info/
事業内容：一般・商業美術印刷、出版・企画・デザイン、ホームページ作成、イベント関連企画・運営、和洋紙卸販売、OA機器販売および保守、業務用家庭用電機製品販売、世界地図販売、各種セミナーの開催

MEMO